

# プロジェクト向上プロセス よくある質問

グローバル補助金プロジェクトの向上に役立つリソースをクラブに紹介するために

## 1. プロジェクト向上プロセスとは何ですか。

プロジェクト向上プロセスの目標は、以下を通じて、奉仕プロジェクトやグローバル補助金の質、インパクト、持続可能性を高めることです。

- 質の高いプロジェクトを立案・実施するロータリアンの能力を高める
- 地元のリソースやネットワークを活用する上で、ロータリアンがより効率的に活動できるよう支援する
- グローバル補助金の計画と立案におけるロータリアンの専門知識の活用を増やす
- ロータリアンが中心となる連携を作り、それを強化する

## 2. プロジェクト向上において、地区国際奉仕委員長はどのような責務を担いますか。

地区国際奉仕委員長は、クラブや地区と協力し、より質が高く、大規模なグローバル補助金プロジェクトを立案します。その際、地区国際奉仕委員長は、ロータリアンの専門知識を生かし、地区内クラブ間や実施国／援助国側提唱者間の連携を深め、プロジェクトの計画と補助金プロセスに役立つ地元専門家のネットワークを作ります。

責務には以下が含まれます：

- プロジェクト計画、重点分野、ロータリー補助金に精通した地元専門家のデータベースを管理する。
- プロジェクトや補助金の支援を提供できる専門家をクラブ会員に紹介する。
- 地区ロータリー財団委員長、小委員会委員長、社会奉仕委員長、職業奉仕委員長、ロータリアン行動グループ、ロータリー財団専門家グループ、ローターアクト代表、平和フェローや学友を含むその他の専門家と協力する。
- クラブの国際奉仕活動を広報する。

## 3. 地区国際奉仕委員長は、地区ロータリー財団委員長 (DRFC) とどのように協力するのですか。

プロジェクトや補助金活動を向上させるリソースを見つけ、それを紹介するために、地区リーダーは互いに協力することが奨励されています。ロータリー財団、補助金、資金管理小委員会、国際奉仕委員会、職業奉仕委員会、社会奉仕委員会、学友委員会間の協力は特に重要です。

地区財団委員長は、クラブへの財団研修を行い、財団のプログラムとファンドレイジング活動を支援するよう奨励します。地区財団委員会の中には、ファンドレイジング、補助金、ポリオプラズ、資金管理の小委員会があります。

地区財団委員長の責務には以下が含まれます：

- 地区財団活動資金(DDF)の補助金への使用を承認する。
- 地区内クラブの参加資格を認定する。
- 財団のファンドレイジング活動やその他のプログラムへの参加を調整する。
- 地区ガバナーならびにガバナーエレクトと相談の上、DDFの使用方法を定める。
- 地区ガバナーがクラブ会長、会長エレクト、クラブ財団委員会やその他のロータリアンを対象に実施する地区ロータリー財団セミナーを支援する。

地区国際奉仕委員長は、地区リソースネットワーク\*のロータリアン専門家と協力することで、地区財団委員会の活動をサポートします。また、クラブの奉仕活動の強化に役立つ各種手引き、プロジェクト計画ガイド、補助金の手引き、その他の研修資料といったロータリーのリソースをクラブに紹介します。

\*地区リソースネットワークについて詳しくは下記 5. を参照。

4. **クラブが国際奉仕プロジェクトを向上させ、グローバル補助金の質、インパクト、持続可能性を高めるのに役立つリソースにはどのようなものがありますか。**

#### 地元または地域のロータリアン専門家

ロータリーの重点分野、補助金、プロジェクト計画に精通した地元のロータリアン専門家は、クラブにとって最善のリソースとなります。専門家には、学友、ローターアクター、平和フェロー、ロータリアン行動グループメンバー、ロータリー財団専門家グループメンバーなどが含まれます。以下のような専門知識が考えられます。

- ロータリーの重点分野に沿ったプロジェクトや補助金の立案
- プロジェクトの立案、計画、実施に必要なサポートの確保
- グローバル補助金の手続きに関する情報の提供
- 地域社会のニーズ調査の実施
- 援助国側提唱者を見つける
- 資金の確保
- 持続可能性の確保
- 成果の測定と評価基準の導入

#### プロジェクトの各段階で役立つツール

ロータリーではプロジェクトの計画と実施の各段階で役立つさまざまなツールがあります。これには、地域調査の実施方法、リソースの見つけ方、援助国側提唱者の特定、資金の確保、財団専門家グループメンバーの見つけ方、プロジェクトの推進などが含まれます。詳しくは、[プロジェクトの流れ\(ライフサイクル\)](#)と[グローバル補助金](#)のページをご参照ください。

5. **地区リソースネットワークとは何ですか。**

地区国際奉仕委員長は、クラブがプロジェクトの向上やグローバル補助金の申請において相談できる地区リソースネットワークを構築するため、専門知識を有する地元ロータリアンや学友を見つけることが役割の一部となっています。ほかの地区リーダーやクラブリーダーと協力し、重点

分野やプロジェクト計画で専門知識があり、クラブプロジェクトのアドバイザーや相談役として活動できる地元のロータリアンや学友が見つかったら、これらの人々をリソースネットワークの一員として招きます。クラブは、地区リソースネットワークに直接連絡をするか、地区国際奉仕委員長から紹介を受けて、プロジェクトの支援を求めることができます。

## 6. 地区国際奉仕委員長が成功を収めるには、どのような戦略が必要でしょうか。

- クラブによる奉仕プロジェクトの向上をより良くサポートできるよう、地区内で協力体制を築く機会を模索する。
- クラブによるグローバル補助金を支援する地元・地域の専門家を紹介するという地区国際奉仕委員長の役割を推進し、認識を高める。
- アドバイザーや相談役として支援できる地元・地域の専門家から成るリソースネットワークが地区で作られていることを確認する。
- 地区財団委員長や地区ガバナーと協力し、地区ウェブサイト、その他の連絡物やソーシャルメディアページに地元ロータリアン専門家の連絡先を掲載してもらったり、地区行事で紹介する。
- クラブがプロジェクトのアイデアを見つけ、地元専門家を推進するために、グローバル補助金または奉仕プロジェクトのワークショップを開くことを検討する。
- 重点分野やプロジェクト計画・実施で経験があるロータリアンに、地区リソースネットワークに加わるよう奨励する。
- プロジェクトやグローバル補助金の計画段階で地元専門家を探す際、まずは地区国際奉仕委員長に連絡することを奨励する。地区国際奉仕委員長が任命されていない場合は、地区財団委員長または地区ガバナーに連絡する。
- 補助金管理セミナーなどの地区研修行事、その他の補助金関連の行事や通信物に地区国際奉仕委員長とそのほかの地区リーダーを含める。
- 効果的な戦略を練り、プロジェクトのパートナーを見つけるため、[地区国際奉仕委員長名簿](#)を参照する。

## 7. ロータリーと地区国際奉仕委員長はどのように協力できるでしょうか。

国際ロータリー奉仕・参加担当部が地区国際奉仕委員長をサポートします。また、ほかのロータリー部署と協力し、地域リソースネットワーク、研修資料、プロジェクト計画、成果基準のモニタリングに関するリソースガイドを作成します。また、プロジェクトやグローバル補助金の計画に役立つ戦略やベストプラクティスの推進も担当します。地区国際奉仕委員長には定期的にリソース、最新情報、職務に役立つヒントなどの情報が送られます。

地区国際奉仕委員長の皆さまへ:ご質問やご懸念、またより大規模で充実したプロジェクトやグローバル補助金の立案をサポートする上で地区リソースネットワークが果たす役割の事例などをご希望の場合は、[ロータリーまでご連絡ください](#)。

## 8. 地区国際奉仕委員長の役割に変更が加わったのはなぜですか。

ロータリー財団管理委員会とRI理事会による見直しを経て、2016年7月1日から地区国際奉仕委員長の責務に新しい項目が追加されました。目的は、6つの重点分野を通じて、地域社会におけるロータリーのインパクトを向上させることです。地区国際奉仕委員長が地元専門家を特定し、その専門知識をクラブや地区が利用できるようにすることで、持続可能なプロジェクトや大規模なグローバル補助金の実施が可能となります。また、地元専門家との協力は、長期的な関係構築やメンタリング、知識の移行にも役立ちます。